

乳幼児身体発育調査の解析： 妊婦体格に関する解析および乳幼児の実態把握に資する分析提案

研究分担者 森崎 菜穂（国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部）
研究協力者 青山 友子（国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部）
石塚 一枝（国立成育医療研究センター女性のライフコース疫学研究室）
吉井 啓介（国立成育医療研究センター内分泌・代謝科）

研究要旨

本分担研究では、令和5年に行われた乳幼児身体発育調査の解析を通して、調査報告書案を作成することを目的とした。具体的には、ふだんのBMIの分布、ふだんのBMIに応じた妊娠中の体重増加量の分布、ふだんのBMIに応じた出生体重の分布、ふだんのBMIと妊娠中の体重増加量別の児の出生時体重の分布、の算出方法を検討した。

今後、令和5年調査データおよび平成22年以前に実施された同調査のデータを用いて、基礎疾患を有する児を除外することによる成長曲線への影響、妊娠中の体重増加の指導変更と妊娠予後の関連、こどもの言語発達の経年変化と関連要因に関する分析、を予定している。

A. 研究目的

こども家庭庁（平成22年までは厚生労働省）が実施する乳幼児身体発育調査では、全国から無作為抽出された乳幼児を対象に、身体計測等を実施してきた。本調査から得られた情報は、乳幼児身体発育曲線の作成に用いられ、この曲線は広く乳幼児保健指導に用いられてきた。

一方で、本調査は国勢調査の調査対象者抽出方法を倣い対象児童を全国からまんべんなく抽出し実施している。このため、10年毎に全国の乳幼児の実態を把握するという役割も果たしてきた。

そこで、令和5年調査では、母親の身長、妊娠前体重および出産直前の体重を聴取することで、妊婦の体格指標と出生体重との

関連を求められるように調査票の作成を提案していた。

本研究では、本調査情報をもとに、調査報告書に掲載する分析提案を行うこと、また、令和5年調査データおよび平成22年以前に実施された同調査のデータを用いて、乳幼児の実態把握に資する分析を提案することを目的とした。

B. 方法

令和5年調査に作成した調査票情報および仮集計結果を踏まえて、除外基準および集計表の提案を行った。また、令和5年調査データおよび平成22年以前に実施された同調査のデータを用いて、乳幼児の実態把握に資する研究の分析計画を立案した。

C. 結果

I 集計表

妊婦の体格指標に関する分析は以下の4種類の集計表を提案した。

- ① ふだんのBMIの分布
- ② ふだんのBMIごとの妊娠体重増加量の分布
- ③ ふだんのBMIごとの出生体重の分布
- ④ ふだんのBMIと妊娠中の体重増加量別の児の出生時体重の分布

II 除外基準

除外基準としては、1.妊娠中の体重増加量の区分をどのように定義するか 2.単胎児以外を含めるか 3.正期産児以外を含めるか について論点となった。

2023年に改訂された妊娠中の体重増加指導の目安¹⁾においては1.BMIごとに体重増加量の目安がことなること、また適応基準は明確ではないものの、2.根拠論文²⁾においては単胎のみを分析して推奨値を算出していること、そして、3.妊娠40週における体重増加量を算出していること、から、

- ① ふだんのBMIの分布
については、対象を全妊婦とする、
- ② ふだんのBMIごとの妊娠体重増加量の分布
- ③ ふだんのBMIごとの出生体重の分布
- ④ ふだんのBMIと妊娠中の体重増加量別の児の出生時体重の分布

については、対象を単胎・正期産であった妊婦に限定する、

ことを提案した。

また、③の分析については分析表に載せず④のみとすることを提案した。

III 詳細な分析

令和5年調査データおよび平成22年以前に実施された同調査のデータを用いて、乳幼児の実態把握に資する研究の分析として、以下の3つを提案した。

- 1) 基礎疾患を有する児を除外することによる成長曲線への影響
- 2) 妊娠中の体重増加の指導変更と妊娠後の関連
- 3) こどもの言語発達の経年変化と関連要因に関する分析

D. 考察

調査票結果を有効に活用することができる提案が行えた。

E. 結論

今年度は、令和5年調査の調査報告書作成に当たり、本調査が国勢調査の調査対象者抽出方法を倣い対象児童を全国からまんべんなく抽出し実施していることを踏まえ、調査報告書に記載する妊婦の体格指標と出生体重との関連に関する分析を提案した。

また、過去調査と令和5年調査を用いた、乳幼児の実態把握に資する研究の提案を行った。

来年度は引き続き分析を行う予定である。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

参考文献

- 1) 日本産科婦人科学会. 妊娠中の体重増加指導の目安. 令和 3 年 6 月 1 日
https://www.jsog.or.jp/news/pdf/20210616_shuuchi.pdf
- 2) Takeda J, Morisaki N, Itakura A,

Aoki S, Sago H, Nagamatsu T, Masuyama H, Matsubara S, Umazume T, Mitsuda N, Itoh H, Ikeda T; Perinatal Committee of the Japanese Society of Obstetrics and Gynecology. Investigation of optimal weight gain during pregnancy: A retrospective analysis of the Japanese perinatal registry database. *J Obstet Gynaecol Res.* 2024 Mar;50(3):403-423.